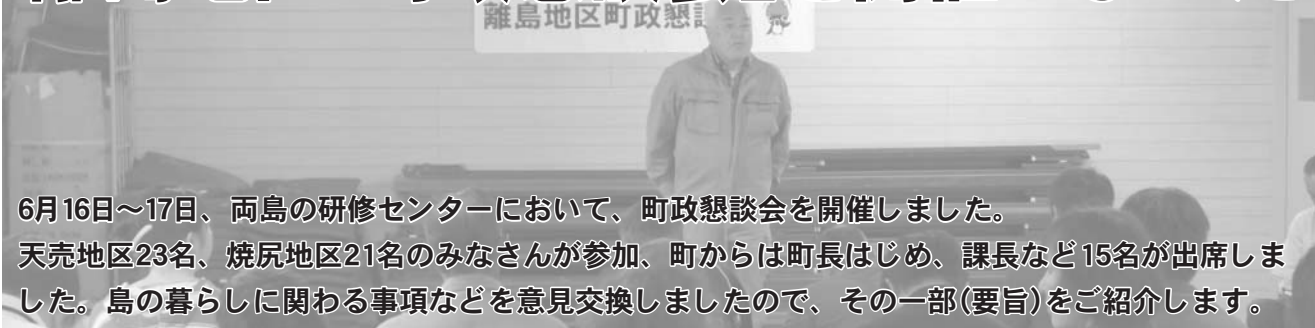


離島地区「町政懇談会」を開催しました



6月16日～17日、両島の研修センターにおいて、町政懇談会を開催しました。天売地区23名、焼尻地区21名のみなさんが参加、町からは町長はじめ、課長など15名が出席しました。島の暮らしに関わる事項などを意見交換しましたので、その一部(要旨)をご紹介します。

はじめに町から、「公共施設を見直します」、「どうする？人口減少問題」、「離島地区投票所の統合検討」についての説明を行いその後、意見交換を行いました。

（印は参加者の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部編集して掲載しています。）

天売地区

◆昨年、港の観光船が停泊している所に常設で街路灯と電源ボックスの設置をお願いして、今年は臨時的に設置していただきましたが、今年限りということなので、なんとか常設の方向で設置してもらいたいです。

港湾施設自体は国の施設であるため国と相談して今の現況を変えることができるとか許可をいただく必要があると思います。関係者とも相談しながら検討させていただきます。

◆天売港について最近は大変異常気象で高い波が見受

けられ、北防波堤の赤灯台から伸びている防波堤を越えてくる波が以前に比べ増えているように思えます。消波ブロックのかさ上げについて、管理者である町から国へ要望していただきたい。留萌開発建設部へ要望事項としてお伝えします。

◆選挙のようですが、期日前の投票の数も増えていると思うので投票所の人数をもう少し減らすことができないものですか。また、繰り上げ投票ではなく、選挙当日に投票、島内で開票ができないものですか。

投票所については、定められた人数を配置しなければなりませんので、減らすことは難しいです。このような意見があるということでは伝えます。事務については、投票用紙の交付間違いなどが起こらないようにするために、点検を分散しそれぞれの職員で確認できるように配置している状況です。期日前投票が増えている状況も理解しておりますし、検討させていただきます。

◆天売高校の島外からの募集に二百何十校も回られてということに感謝しています。小さい高校ですが内容においては素晴らしいものがあり、一般の方もパソコンや習字など学んでおり、島全体の高校ですので、維持するのは難しいと考えています。

◆高齢者の入浴サービスについて、ここから羽幌まで行くのは高齢者には無理です。それに代わる、地元で利用できる、参加できる施策を講じてほしい。天売だけではなく焼尻もありませんし、全町的にやっている事業でもありませんので総合的な部分で判断させていただきたいと思っています。

◆羽幌町の奨学金制度について、一般の奨学金の対象は4年制大学、短期大学、高等専門学校に限られています。今の時代、専門学校に行く子どもが増えていると思います。もう少しそのための奨学金の窓口を広げることができないものでしょうか。

現行制度では4年制大学、短期大学、4年制以上の高等専門学校となっております。専門学校でも短大と同等の資格を取れる専門学校等があると聞いていますので、調査をしまして、当然予算の関係も出てきますので、総合的に考えて検討させていただきます。

◆天売高校の島外からの募集に二百何十校も回られてということに感謝しています。小さい高校ですが内容においては素晴らしいものがあり、一般の方もパソコンや習字など学んでおり、島全体の高校ですので、維持するのは難しいと考えています。

ための支援をお願いします。◆先月立ち上げた島内の推進協議会の中で、天売島は知っていないことが出ていて、もう少し広報活動が必要ということで、できれば観光協会のホームページ等にリンクを貼ることなども検討いただければと思います。

観光協会等と協議し、広報の充実について検討させていただきます。

◆住宅街のところにマムシがいます。道路の草刈りなども行っていますが、少し伸びてしまつと分からなくなってしまうので、本日に噛まれたときに、(診療所に血清があるということですが、実際に噛まれたらそれで対応できるかどうか、町で一度確認して、島民へも周知していただき、万が一噛まれたときにはどうすべきか教えてもらえたらスムーズな対応ができると思います。

今年は何年になく多くのマムシが捕獲されていると認識しております。看板などを掲げてマムシがいるという周知は最低限でできるのかなと考えております。島民への噛まれた場合の対処の周知は広報紙やホームページ等、ある程度専門の医者とも協議したうえで、できるだけ早い段階でできたらと考えております。

道路ですから、道の羽幌出張所へも今出た話を伝えましてなるべくサイクルの早い形で草刈りをしてもらえるようにお願いをしておきます。

焼尻地区

◆人口減少問題ですが、今、策定会議が行われている状況は把握しているのですが、具体的に羽幌町自身がどう向き合っているのか、日頃あまり行政側から発信されていないのではないかと。かといって策定会議以外の場面ではかの人たちが声を出せるような機会も少ないのではないかと。思っているんですが。

人口減少をストップさせるということは難しいですが、できるだけ減少する幅を少なくという考えで、各団体の意見を聞きながら共通認識の中で、まずはこの5年間をどの方向に向かっていくのかということこの戦略の中でやっていきたいと考えております。

◆ぼくらは島おこしの団体をしていて、皆さんと接する機会も多くいろいろな話を聞いていただいているんですけど、それ以外の島民が声を出すタイミングが中々少ない

というのが実感としてあるんですが、地域おこし協力隊のことと、まして、二次募集の時にも新聞くらいの情報しかないです。例えばそういうのも島民のニーズを拾ってくれると、もう少し活発に焼尻は焼尻なりにこの方向で行きたいということかもやっていけるのではと思うんですけれども。

情報発信不足という部分については、今お話を聞きましたのでいろんな部分でできるみなさんの理解に努めたいと考えています。これから採用の機会がありましたら、内部でもどのような人材が必要なのか、3年間という雇用期間はあるのですが、残っていただけのためにすることも考えていかなければならないと思います。その方が島に住んでから3年後何をしていくのか、これはこちらから押し付けるものではないと思います。地域からの支援ではありませし、地域からの支援理解をしていただくような取り組みもしていかなければならないと思いますので、それについては情報交換しながらやっていきたいと考えております。

◆今トイレの工事(フェリー駅)をやっていますが、先月業者が来て、いつから(工事)やるんだかと聞いたら、今すぐやると。役

場の方針だからしょうがないと。それで、役場に電話をして聞いたので、トイレがきれいになるからいいでしょ、と回答をされました。観光が控えて忙しい時期なのに、私たちだけではなく観光のお客様にも不自由をかけることになりま。だから、できれば本当はこの時期は外してほしかったと思っています。

今後、気をつけたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひします。

◆町長にお伺いしたいんですが、町長に就任されてから離島地区に対して直接的に声を発する場面が中々なかったと思うので、今後の離島の特にこの焼尻に対してのお考え、町長がどうしていきたいのか、どうしていくべきなのか、もしあれば教えてください。

個人的には日にちが浅いので、まだ何とも言えませんが、北海道それから国のレベル、離島振興協議会がございしますので、その中で色々取り組みをしていきたいと思ひます。先ほどの人口問題にしてもそうですし、様々な問題をそこで取り上げていますので、大変難しい問題であるのとそれから、地方創生の部分では一番力を入れなければならないという発想で動いている段階ですので、ご理解いただきたいと思います。

過去には年に1度くらい方面委員が役場(支所)で打合せをやっていたと思うんですが、最近はどうなんでしょうか。

◆直接困ったことがあれば役場に言うってくださーいというのはありがたいことなんです。島民が直接行けない部分もあるので、年に一度でいいから方面委員を集めて何かありませんかということがあるかもしれないので、できればそのような機会を作っていたらと思います。住民の意見を吸い上げる場、小さいコミュニケーションで話したことを、全体として島で支所長が中心となつてということが必要だと思います。そういったことを考えてみてください。

◆町長はこのような、離島地区の住民と顔を合わせてコミュニケーションをとる場合は年に1回で十分だと思ひませんか。

◆ぜひとも、体が空かないなりにコミュニケーションを取れる場を多くとっていかう、主導しているという声を島民は望んでいます。

◆防災の(ハザードマップ)国で

見直ししましたよね、3年くらい前に。それで、ここはここで新しいのでたら(説明会)やるような話だったと思ひますが、あれから一度もないですよ。

震災前に出たものが今配布しているもの(町ハザードマップ)ですが、震災が起きた後に北海道で再調査をかけていますが、道の発表が遅れている状況で、町全体の防災計画自体も避難所のあり方も含めまして、道から示された段階で、そういった部分も付加しながら、新しいものを作りたいと動いているところです。

【お知らせ】

市街地区の町政懇談会も残すところ2箇所となっています。みなさんご参加をお待ちしています。

日時・場所

■7月14日(火)午後7時 中央集会所

■7月15日(水)午後7時 築別老人寿の家

お問い合わせ

地域振興課広報係
☎ 68・7013 (課直通)